

2023年9月8日

(1/2)

スズキ、本社および国内工場等に 再生可能エネルギー由来のCO₂フリー電気を導入

スズキ株式会社（以下、スズキ）は、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みとして、静岡県内にある本社及び工場等で使用する電力について、再生可能エネルギー由来のCO₂フリー電気「静岡 Green でんき」^{※1}を7月から順次導入いたしました。

これにより、静岡県内のスズキの拠点は全てCO₂フリー電気を使用するため、電力使用によるCO₂排出量はゼロとなります。

また、スズキグループ企業（下表参照）においてもCO₂フリー電気を導入いたしました。

スズキは、政府が掲げる達成目標時期に基づき、2050年のカーボンニュートラルの達成を目指しています。

CO₂フリー電気導入後も、引き続き電気、ガス等、事業活動で使用するエネルギー使用量の削減を精力的に進めるとともに、再生可能エネルギーへの転換を推進し、カーボンニュートラルを進めてまいります。

今後も、国内の他拠点や、海外拠点を含めたグループ全体でカーボンニュートラルに取り組み、持続可能な社会の実現とともに、持続的な企業価値の拡大を追求してまいります。

<CO₂フリー電気 主な導入施設>

スズキ	本社、湖西工場、磐田工場、相良工場、大須賀工場、浜松工場（二輪工場、二輪技術センター）、部品工場、金型工場、マリン技術センター、竜洋コース、相良コース
スズキグループ企業	(株)スズキ部品製造 浜松工場、 (株)スニック 湖西工場、竜洋パイプ工場、磐田パイプ課、相良工場、 (株)スズキ納整センター 湖西・相良

※1 水力発電や太陽光発電等に由来する環境価値を活用することで、実質的に再生可能エネルギー100%とした電気。

静岡県内に立地する水力発電所等の再生可能エネルギー由来の環境価値や地産価値を活用し、静岡県産のCO₂排出量ゼロの電気として供給する中部電力ミライズ株式会社のサービスです。

<CO₂フリー電気 活用イメージ>



以上